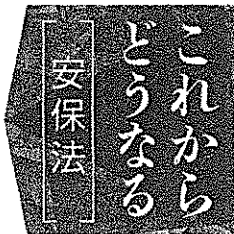


一強国会 追認の懸念



③

他国の戦争に参加できる ようにする安全保障関連法 に多数の国民が反対する 中、安倍政権は国会審議を 打ち切って成立させた。自 衛隊の海外派遣のほとんど に国会承認が義務づけられ ていることを理由に、安倍

晋三首相らは「政府に行き 過ぎがあれば、国会が歯止 めをかける」と主張する。

他国を武力で守る集団的 自衛権を行使するための防 衛出動を首相が命じる際 に は、「原則として」事前に 国会の承認を得なければな らない。政府が緊急時と判 断すれば、事後でも可能。 日本の安全と直接関係ない 国際紛争で他国軍を支援す る場合は「例外なく」事前 承認が必要としている。 参院特別委員会では、与

自衛隊活動についての国会承認

内閣	国会
自衛隊の活動	必要は国会承認
集団的自衛権を行使 するための防衛出動	原則は事前、緊急時 は事後も可
重要影響事態で米 軍などの戦闘を支援	
日本の安全と直接関 係ない国際紛争で 他国軍を支援	例外なく事前に
PKOなどでの安全 確保活動と停戦監視 活動	国会閉会中以外は 事前に
邦人救出で派遣	なし

党と次世代、元氣、改革の 野党三党の賛成で、集団的 自衛権の行使を中心に国会

関与を強める付帯決議も可 決され、政府は決議を尊重 すると閣議決定した。た だ、具体的な強化の内容 は、中東・ホルムズ海峡で の戦時の機雷掃海のように 日本に戦火が及ぶ可能性の

ないケースでは「例外なく 事前承認を求める」など一 部のみだった。

問題は、国会が期待され る「歯止め役」を果たすこ とができるかどうかだ。

国会承認には衆参両院の 可決が必要だ。仮に衆参の 多数派が異なる「ねじれ」

国会であれば、海外派遣に は野党からも賛成を得なけ ればならない。政府は派遣 の可否を判断する根拠とな る情報を国会に具体的に開 示する必要が生じる。

だが、衆参両院で与党が 過半数を占める状況では、 国会が「追認機関」になる 懸念が強い。実際、安保法

の国会審議で与党議員が問 題点をただす場面はなく、 政府の立場を説明するよう 求める質問に終始。与党

は、憲法学者や元内閣法制 局長官、元最高裁判官に 「違憲」と指摘された法律 をそのまま成立させた。

安保法の作成段階でも、 自民党内の異論はごく一部 にとどまった。安保法の審 議中に、首相は党総裁に無 投票で再選され、「首相一 強」が浮き彫りになってい る。首相の意向通りに安保 法を成立させた国会の現状

では、「歯止め役」の機能 には疑問符がつかざるを得 ない。 (金杉貴雄)